

2005年(平成17年)8月22日(月曜日)

オンライン  
オロロン  
トライアスロン

# 村上が9連覇

## 男子はスチュアートV3

トライアスロンの国内最長レース、第19回日本海牙ロロンライン国際大会兼第8回選選手権(実行委、北海道新聞社、道

新スポーツナビ主催)は1日、留萌管内9市町村を舞台に総距離244.77キロで行われ、男子はスミス・スチュアート(長崎)が浜野弘(静岡)の追撃を振り切り、9時間7分59秒の3年連続4度目の優勝を飾った。女子は村上純子(札幌)が連続10度目の優勝を遂げた。(関連記事35面に)

レースは増毛町の増毛港でスタートし、留萌管内を北上して幌延町で折り返し、遠町までのパ

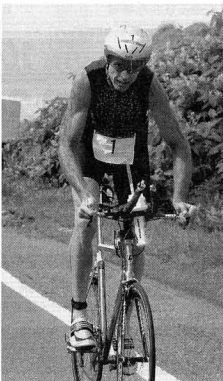
新スポーツナビ主催)は1日、留萌管内9市町村を舞台に総距離244.77キロで行われ、男子はスミス・スチュアート(長崎)が浜野弘(静岡)の追撃を振り切り、9時間7分59秒の3年連続4度目の優勝を飾った。女子は村上純子(札幌)が連続10度目の優勝を遂げた。(関連記事35面に)

コースは、礼し、快挙を喜んだ。

バイクの向かい風に極まされ、ランの最後の10分がかなり厳しかったといながらも、集中的なトレーニングが自信につながり、勝利を呼び込んだ。それとやはり昨日の駒太智小牧の甲子園優勝に力もらった。道産子パワを見せなきゃって思ってた、興奮気味に駆けつけた。

10連覇について聞かれると「それよりも競技の成熟のなれ、後進の選手にどんどん出てきてほしい」と、ライバル登場を待ちわびていた。

一方、最後のランで懸命の追い上げを見せた浜野は、37秒差でまたも2位。悲願の初優勝はならなかったが「スミスお互いに意識しながらの展開。いいレースができて悔いはない」とライバルをたがえていた。



④男子で4度目の優勝を果たしたスチュアート(右)花束を抱え、10度目の優勝を喜ぶ村上純子

①男子 ①スミス・スチュアート(長崎) 9時間7分59秒 ②浜野弘(静岡) 9時間11分36秒 ③吉田正実(札幌) 9時間17分03秒 ④野村美子(札幌) 9時間17分21秒 ⑤村上純子(札幌) 9時間17分21秒 ⑥平川小夜子(徳島) 9時間31分26秒 ⑦井小夜子(徳島) 9時間43分35秒 ⑧岩井美香(札幌) 9時間43分35秒 ⑨岩井美香(札幌) 9時間43分35秒 ⑩岩井美香(札幌) 9時間43分35秒

②女子 ①スミス・スチュアート(長崎) 9時間7分59秒 ②村上純子(札幌) 9時間10分11秒 ③吉田正実(札幌) 9時間12分03秒 ④野村美子(札幌) 9時間12分03秒 ⑤村上純子(札幌) 9時間12分03秒 ⑥村上純子(札幌) 9時間12分03秒 ⑦村上純子(札幌) 9時間12分03秒 ⑧村上純子(札幌) 9時間12分03秒 ⑨村上純子(札幌) 9時間12分03秒 ⑩村上純子(札幌) 9時間12分03秒